



古くから鉄道の街として発展を続けてきたさいたま市内には、鉄道関連のモニュメントなどが、市内各所に設置されています。そこで、この秋の鉄道博物館オープンを記念して、普段は見過ごしてしまいそうな場所に佇んでいる鉄道関係スポットの一部をご紹介します。すでにご存知の方はこの機会にじっくりと、ご存知なかった人はぜひ一度、ご覧になってください。

①JR大宮総合車両センターのD51187号蒸気機関車



D51形式蒸気機関車は、1936年(昭和11年)から1945年(昭和20年)までに合計1115両製造されました。大宮工場においては、1938年(昭和13年)から1942年(昭和17年)までに31両製造され、このD51-187号機はそのうちの第1号機であり、構成部品の全てを工場独自の力で製作したもので、歴史的にも大宮工場の技術の高さを証明した車両といわれています。  
※9月15日までは補修工事のため見学不可。写真は工事前のものです。

■アクセス  
JR大宮駅西口から徒歩10分

②DOMショッピングセンターのモニュメント



モニュメント下部の車輪は、1982年(昭和57年)6月23日に東北新幹線が大宮駅から暫定開業した時の、午前7時15分発の盛岡行き(やまびこ11号)1番列車の車輪です。

■アクセス  
JR大宮駅西口から徒歩1分

③鐘塚公園の白井助七翁の胸像



明治16年(1883)高崎線の上野～熊谷間が開通した際の県内の駅は浦和、上尾、鴻巣、熊谷の4駅のみでした。そこで、白井助七翁をはじめとする町の有志が大宮駅設置運動を展開し、2年後に高崎・東北両線の分岐点として大宮駅が設置され、鉄道のまちとして発展する基礎となりました。その偉業をたたえるため、平成14年に街の有志により設置されたこの銅像は、公園内の鉄道を望む場所に設置されています。

■アクセス  
JR大宮駅西口から徒歩3分

④山丸公園のC1229号蒸気機関車と白井助七翁の碑



C12形式蒸気機関車は、1932年(昭和7年)から1940年(昭和15年)までと1947年(昭和22年)に合計293両製造されました。この車両は昭和8年に日立製作所笠戸工場で製造されたもので、横浜、旭川、釧路で活躍したあと、大宮工場の交換機を最後に昭和44年廃車になりました。昭和45年に大宮工場より旧大宮市役所前(現大宮区役所)に展示された後、当地に移設され現在に至っています。また、この地にも白井助七翁の顕彰碑が設置され、その功績を讃えています。

■アクセス  
JR大宮駅東口から徒歩15分

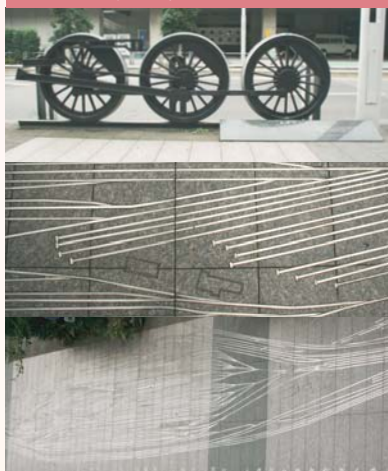
⑤さいたま新都心の大宮操車場記念碑



かつてこの地には、旧国鉄の三大操車場の一つ「大宮操車場」がありました。操車場とは鉄道車両基地の一種で、貨物列車などの入れ換えなどを行う場所です。さいたま新都心はこの大宮操車場跡地を利用して開発されたもので、その歴史を伝えるため街の有志により今年8月29日に設置されました。大宮機関区を最後に走った9600形式636号機の勇姿と空から見た操車場の写真がプレートに刻まれています。

■アクセス  
JRさいたま新都心駅西口から徒歩2分

⑥さいたま新都心の大宮操車場モニュメントとレリーフ



操車場の記憶を今に伝える車輪のモニュメントと、線路の軌道線を描いたレリーフが設置されています。長大なレリーフは、大宮操車場の壮大なスケールを偲ばせています。

■アクセス  
JRさいたま新都心駅西口から徒歩3分

⑦さいたまスーパーアリーナの  
大宮操車場大パノラマ油絵



さいたま市在住の画家 秋山静子さんが描いた大宮操車場の油絵が展示されています。作品は平成元年に付近のビルから操車場を展望したもので、6.5mの大パノラマが当時の様子を今に伝えてくれます。  
☆設置場所:スーパーアリーナ1階S1ゲート付近

■アクセス  
JRさいたま新都心駅西口から徒歩3分

⑧大宮操車場メモリアルポケットパーク



その名のとおり大宮操車場の歴史を継承するために開設された小公園です。園内には線路と枕木を埋め込んだレリーフが設置されているほか、さいたまスーパーアリーナに展示されている「大パノラマ」など、秋山静子さんが操車場を描いた油絵の複製2点が掲示され、当時の様子をうかがい知ることができます。

■アクセス  
JRさいたま新都心駅西口から徒歩6分

中央区役所前の39685号蒸気機関車

9600形式蒸気機関車(通称キューロク)は、1913年(大正2年)から1926年(大正15年)までに合計770両製造されました。9600形は、動輪が小さくボイラーが大きいその姿から「甲虫(カブトムシ)」という愛称で親しまれていました。この車両は大正9年に川崎造船所兵庫工場で製造されたもので、九州、新潟、長野で活躍したあと昭和46年に廃車になり、昭和47年に大宮工場より当地に展示され現在に至っています。

■住所 さいたま市中央区下落合5-7-10  
■アクセス JR与野本町駅東口から徒歩3分



マメ知識

9600形の車両番号は、1番目が9600、2番目が9601、3番目が9602と続き、100番目が9699となりますが、101番目を9700とすると既にあつた9700形と重複してしまうので、101番目は万位に1をつけて19600としました。その後も同様に、下桁を00から始め、99に達すると次は万位の数字を1つ繰り上げる番付法にしたため、100番目ごとに万位の数字が繰り上がります。このため中央区役所前の39685号蒸気機関車は、9600形の386両目となります。

岩槻城址公園の1720系特急電車1726号(ロマンスカー)

1720系はデラックスロマンスカー(通称DRC)と呼ばれ、1960年(昭和35年)から9編成製造された東武鉄道を代表する特急電車です。6両1編成で第1編成の車両番号が1721~1726、第2編成が1731~1736と番付されました。この車両は、最初に製造された第1編成の先頭車両で1991年(平成3年)まで就役し、1994年(平成6年)の旧岩槻市制施行40周年にあたり、東武鉄道から寄贈され当地に展示されています。  
☆設置場所:公園東側第3駐車場付近

■住所 さいたま市岩槻区太田3-4  
■アクセス 東武野田線岩槻駅から徒歩25分



鉄道博物館の開館記念事業が目白押し!

市立博物館第3回特別展「鉄道の街 さいたまー鉄道博物館がやってきたー」

- 内容 鉄道文化にまつわる歴史と文化についての特別展
- 期間 平成19年10月6日(土)~11月25日(日)
- 会場 さいたま市立博物館
- 問合せ 同博物館 ☎048-644-2322

記念講演会

- 内容 作家の関川夏央氏を講師に招き「鉄道文化」をテーマとした講演会
- 日時 平成19年10月8日(月) 14時~15時30分
- 会場 生涯学習総合センター(シーノ大宮)多目的ホール
- 問合せ さいたま市文化振興課 ☎048-829-1226

2007秋・鉄道博物館 開館おめでとう 大宮区民鉄道まつり

- 内容 「鉄道博物館と鉄道のまち大宮」をテーマにした講演会、シンポジウム、コンサート
- 日時 平成19年10月20日(土)・21日(日) 両日とも13時~17時(開場12時)
- 会場 生涯学習総合センター(シーノ大宮)多目的ホール
- 問合せ 大宮学事始(齋藤方) ☎048-641-8418

